

別記

開発事業等に係る施工段階チェックシート

このチェックシートは、開発事業に係る工事のうち代表的な工種である盛土工および擁壁工において、各種構造の施工段階で必要最小限確認しなければならない施工上の留意事項を下記のとおり取りまとめ、記載しています。

また、これ以外の宅地造成工事に関する工種は宅地防災マニュアルの解説（編集宅地防災研究会、平成19年12月5日）を、また、各公共施設等工事に関する工種は滋賀県一般土木工事等共通仕様書（監修滋賀県、平成23年10月）等を参考に施工管理して下さい。

なお、これらチェック項目は検査時に確認しますので、事業者等において、工事写真、自主検査報告書（様式一検3）、施工管理および品質管理等施工記録に関する資料を整備しておいて下さい。

重 要

これらの施工記録は、品質に関する証拠資料にもなりますので、事業者において原本は大切に保管しておいて下さい。

【擁壁工編】

1 丁張りについて

- ・計画の位置および高さに相違はありませんか？

YES



NO



事業者もしくは設計者に報告し計画変更など適切な処理を行うこと。

2 床付け面について

- ・浮石除去等底面均しを行いましたか？
- ・必要以上に地山を乱さないこと
- ・設計条件の土質に相違はありませんか？
土質条件は合っていますか？（試験等データ）
地耐力はありますか？（試験等データ）

YES



NO



事業者もしくは設計者に報告し計画変更など適切な処理を行うこと。

3 基礎工について

- ・構造図に基づく仕様（材料、寸法）で敷均しおよび締固めを行うこと



4 擁壁の形式はなんですか？



a) 現場打ち擁壁



b) プレキャスト擁壁



c) 練積み造擁壁

a) 現場打ち擁壁

1 鉄筋工について



鉄筋コンクリート造（L型擁壁等）



無筋コンクリート造（重力式擁壁等）

- ・ 構造図に基づき配筋を確認しましたか？

主筋、配力筋等の配置

鉄筋種別（SD345、D19など）

継ぎ手長、定着長



2 型枠工について

- ・ 所定の鉄筋かぶりは確保できていますか？（鉄筋コンクリート造の場合）
- ・ 所定の位置に伸縮目地が設置されていますか？
- ・ 所定の水抜きパイプ（材質、径、位置、本数）が設置されていますか？



3 生コンクリート打設について

- ・ 型枠および鉄筋ともにコンクリートの付着を害するよごれなどはありますか？
- ・ コンクリートの配合に間違いはありませんか？
- ・ 内部振動機を用いて適切な締固めを行っていますか？
- ・ コンクリートを打継ぐ場合、打継ぎ面のレイタンス除去を行いましたか？
- ・ 打設日の気候および気温に応じた養生を行っていますか？（保温、湿潤等養生）
- ・ 型枠存置期間は守られていますか？



4 埋戻しについて

- ・ セパ穴処理や補修は完了しましたか？
- ・ 出来形検測を行いましたか？（構造図と対比）
- ・ 吸出防止材および透水層は構造図に基づく規格ですか？
- ・ 埋戻土は設計条件と相違ありませんか？
- ・ 適切な締固めが行われていますか？（30cm毎にマーキング）
- ・ 擁壁前面の根入れは確保できていますか？（展開図と対比）

b) プレキャスト擁壁

1 構造図（仕様）に基づく規格ですか？

- ・ 部材の検収を行うこと

NO



事業者もしくは設計者に報告し計画変更など適切な処理を行うこと。

YES



2 据付について

- ・ 展開図に基づく割付に相違はありませんか？



- ・ 製品の端部を安易に重力式擁壁で接続をしないこと
- ・ 特殊加工品もしくは現場打ちによる割付の見直し（展開図の変更）を行うこと
- ・ 製品は現場で切断してはならない（耐久性の鉄筋腐食の原因となるのでメーカーの指示に従うこと）

NO



事業者もしくは設計者に報告し計画変更など適切な処理を行うこと。



YES



- ・ 敷きモルタル（空練不可）の施工を行うこと
- ・ 製品にひび割れ等の異常はありませんか？

YES



3 埋戻しについて

- ・ 出来形検測を行いましたか？（構造図と対比）
- ・ 吸出防止材および透水層は構造図に基づく規格ですか？
- ・ 埋戻土は設計条件と相違ありませんか？
- ・ 適切な締固めが行われていますか？（30cm 毎にマーキング）
- ・ 擁壁前面の根入れは確保できていますか？（展開図と対比）

(例示) 二次製品の種類

当初設計	変更設計（設計条件に変更のないもの）	
大臣認定品	→ 大臣認定品（他社のメカ）	変更届
大臣認定品	→ 一般宅造品	変更許可
一般宅造品	→ 大臣認定品	変更届
一般宅造品	→ 一般宅造品（他社のメカ）	変更許可

c) 練積み造擁壁

1 構造図（仕様）に基づく規格ですか？

- ・コンクリートブロック等部材の検収を行うこと。

YES



2 丁張りについて

- ・展開図に基づく割付に相違はありませんか？
- ・切土の場合必要以上の過掘りはしないこと

YES



3 積み方について

- ・切土タイプですか、盛土タイプですか？
- ・壁面勾配は間違っていないですか？
- ・所定の位置に伸縮目地が設置されていますか？
- ・構造図に基づく所定の位置で裏込めコンクリートおよび透水層の厚みがありますか？
- ・水抜き孔の裏側に吸出防止材を設置しましたか？
- ・吸出防止材および透水層は構造図に基づく規格ですか？
- ・裏込めコンクリート打設時に裏型枠を設けていますか？
- ・水抜き孔は逆勾配になっていませんか？（擁壁前面に向けて2%程度の勾配をとること。）
- ・天端コンクリートは構造図に基づく規格で施工すること



4 埋戻しについて

- ・出来形検測を行いましたか？（構造図と対比）
- ・のり長さの上げ墨をマキングすること
- ・擁壁前面の根入れは確保できていますか？（展開図と対比）

NO



事業者もしくは設計者に報告し計画変更など適切な処理を行うこと。

NO



事業者もしくは設計者に報告し計画変更など適切な処理を行うこと。

【盛土工編】

1 丁張りについて

- ・計画の位置および高さに相違は無いですか？

YES



2 伐開除根、除草および既設構造物撤去について

- ・適法かつ適正に事業者の責任において処理すること



3 原地盤の処理について

- ・軟弱地盤対策は必要ですか？
(目安：スウェーデン式サウンディング試験等)

設計内容に相違無し



4 地下水排除について

- ・原地盤において浸出水はありませんか？
(地下水位が高い等)

設計段階において地下水排除の検討有りまたは浸出水無し

設計内容に相違無し



5 傾斜地盤上の盛土について

- ・原地盤の勾配が15度(約1:4)程度以上の場合には段切りを行うこと



6 盛土材料について

- ・設計条件に示された材料ですか？

YES



7 敷均し転圧について

- ・盛土材料に応じた機械を用いて適切な締固めを行うこと
- ・敷均し厚(まき出し厚)はおおむね0.30m以下とすること



8 のり面が生じる場合について

- ・施工範囲、のり長およびのり勾配など設計内容と相違はありませんか？
- ・のり面保護工は必要ありませんか？

NO



事業者もしくは設計者に報告し計画変更など適切な処理を行うこと。

設計内容と相違



事業者もしくは設計者に報告し計画変更など適切な処理を行うこと。

設計内容と相違



事業者もしくは設計者に報告し計画変更など適切な処理を行うこと。

NO (現場発生土を流用する場合など)



事業者もしくは設計者に報告し計画変更など適切な処理を行うこと。